

第10回 名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会 議事録

- ・日時：平成23年10月13日（木）10:00～11:03
- ・場所：西尾市役所 41 会議室
- ・出席：（自治体）西尾市 神谷副市長
蒲郡市 小林企画部長
愛知県地域振興部交通対策課 松井課長
（オブザーバー）中部運輸局鉄道部 加藤課長
（名鉄）横井専務取締役鉄道事業本部副本部長兼計画部長

〔発言要旨〕

（事務局：西尾市交通対策課）

- 会議に入る前に、本協議会の副会長である蒲郡市副市長は現在不在となっておりますので、本日は代理として小林企画部長様に出席いただいておりますことをご報告申し上げます。
- 規約上、総会の議長は会長が務めるとされておりますので、本協議会会長の西尾市の神谷副市長よりしくお願いいたします。

（会長：西尾市）

- 本日はお忙しいところ、第10回名鉄西尾・蒲郡線対策協議会に、沿線市町、愛知県、オブザーバーとして中部運輸局並びに名古屋鉄道株式会社の皆様にご参集いただき、誠にありがとうございます。
- 今年3月に行われた第9回名鉄西尾・蒲郡線対策協議会において、名鉄西尾・蒲郡線活性化計画が策定されました。この計画では、目標として利用促進・活性化策を充実させて、利用者数を前年度対比で毎年1.6%ずつ増やし、平成24年度の年間輸送人員を318万7,000人以上にするという非常に高い目標を掲げました。
- この計画を達成するために、今年4月に合併した西尾市では、6月に西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団を結団しました。そしてこの応援団と蒲郡市の市民まるごと赤い電車応援団とが連携し、名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会を結成しました。
- そして、9月には名鉄西尾・蒲郡線活性化計画を具体化していくためのアクションプランとして「名鉄西尾・蒲郡線活性化実施計画」が策定されまして、各種団体それぞれに取り組みを進めていただいております。名鉄西尾・蒲郡線存続に向け、官民あげての運動が本格的にスタートしたわけであります。
- また、愛知県におかれましては、6月県議会において、8,300万円という大きな補助を決定していただきました。誠にありがとうございました。次年度以降も格別なるご理解とご支援をお願い申し上げます。
- 本日は、2件の報告事項について、次第に従いまして進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。
- それでは、早速次第に従いまして議事を進めさせていただきます。2 報告事項 【報告事項（1）】「名鉄西尾・蒲郡線活性化実施計画について」事務局、説明を。

(事務局：西尾市交通対策課)

- 【報告事項(1)】「名鉄西尾・蒲郡線活性化実施計画について」、別冊資料、名鉄西尾・蒲郡線活性化実施計画を抜粋して概要を説明。

(会長：西尾市)

- ワーキングで詳細な計画を練っていただいたわけですが、平成22年度の目標が達成されていない厳しい状況であります。アクションプランの細かい数字の根拠は何か。

(事務局：西尾市交通対策課)

- 関係各団体で調査していただいた数字を積み上げたものでございます。

(会長：西尾市)

- まず、23年度の目標を目指して頑張っていきましょう。

(会長：西尾市)

- ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問などございましたら、ご発言をいただきたいと存じます。

(会長：西尾市)

- 特にご発言もないようでございますので、ご異議ないものと認め、報告事項(1)名鉄西尾・蒲郡線活性化実施計画についての報告は終了いたします。

(会長：西尾市)

- 続いて報告事項(2)「平成22年度名鉄西尾・蒲郡線の概況について」の説明をお願いします。

(名鉄)

- 【報告事項(2)】「平成22年度名鉄西尾・蒲郡線の概況について」、資料、西尾・蒲郡線(西尾～蒲郡)の概況を抜粋して説明。

(会長：西尾市)

- ありがとうございます。以上で説明は終わりました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問などございましたら、ご発言をいただきたいと存じます。
- 只今ご説明いただきましたとおり、営業収入が減っているのにもかかわらず、更に営業費用の大幅な削減をしていただきまして、名鉄のご努力によりまして経常損益の改善を図っておられるということでございます。何かご質問はございませんか。
- 輸送人員については、西尾～吉良吉田間では増加している一方で、吉良吉田～蒲郡間では減少しており、吉良吉田蒲郡間は大変深刻な状況になっています。中でも、三河鳥羽、東幡豆、こどもの国、蒲郡競艇場前の減少が大きくなっております。一方、西尾～吉良吉田間につきましては、福地や上横須賀で大きく増加しておりますが、今までの流れを止めるまでには至っていません。
- この件に関しまして何かご質問等ございませんか。特にご意見もないようでございますので、この件につきましては皆様のご了解いただけたものとします。なお、以上をもって名鉄からは、22年度の収支概況を説明していただいたこととなります。今後は23年3月に締結した確認書に記載のとおり、西尾市、蒲郡市はそれぞれ名鉄への運行支援の支払い手続きを進めてください。

また、ご支援をいただく愛知県につきましてもよろしく申し上げます。

- それでは、次第3、その他にまいります。その他として検討スケジュールについて説明をお願いします。

(事務局：西尾市交通対策課)

- それでは、資料の末尾に添付してございます検討スケジュールについて説明いたします。今回、本年度のスケジュールを改めて示させていただきましたのは、3月の総会の際にご承認いただきましたスケジュールの実績と若干のずれが生じてまいりましたので、修正させていただいたものであります。今後の予定には変更はございませんので、よろしく申し上げます。簡単ではございますが、検討スケジュールについての説明を終わります。

(会長：西尾市)

- 検討スケジュールについての説明は終わりました。今後はアクションプランに示した目標値の達成に向けて努力を重ねてまいりましょう。ただいまの関係で何かご質疑等ございませんか。ないようですので、本日予定しておりました事柄についてはこれで終了させていただきます。折角の機会です。3月から半年経過しておりますので、何かご発言いただきたいと思います。

(蒲郡市)

- この問題に関しまして、蒲郡市民の中にまだまだ意識が浸透していないように思っています。今後は更に啓発活動を含め、力を入れていかなければならないと思っています。また、沿線地域だけではなく、蒲郡市内の各駅が軒並み減少している状況であります。その中でも西浦地区が蒲郡市内で最も人口が減少している地域であります。これに伴って西浦・形原地区の学生の減少も影響していると考えられます。また、東日本大震災以降、観光客が減少していることも影響しています。今まで蒲郡から名鉄を使って西浦・形原の温泉にみえた方が減少していましたが、徐々に回復傾向にあります。
- 名鉄におかれましては、経費削減に努力していただき感謝しております。私たちも今後も引き続きご努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。県におかれましては、多額の支援をしていただきましてありがとうございます。今後も引き続きご支援をお願いいたします。また、中部運輸局様においては、日頃から様々な支援をしていただき、感謝しております。蒲郡市は沿線で、保育園の遠足に名鉄を使うとか、形原のグラウンドを使っての大会の誘致などいろいろな事業を行ってまいりますので、名鉄におかれましても、存続に向けて進んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(愛知県)

- 6月議会で本年度の補助予算を何とか確保できましたことを、まずはご報告します。現在、来年度予算の議論が既に始まっております。活性化計画の目標を達成することが必要ですので、皆で努力してクリアできるようにお願いします。
- 先ほど、名鉄から経費削減の状況や収支報告をお聞きしましたが、これまでの名鉄の主張としては、鉄道特性が発揮できないということでした。まずは、区間収支が存続協議を開始した平成17年度以前の水準に戻ることが大切で、それが究極の目標であると考えております。そのためには、関係者各々の努力が引き続き必要であります。
- 名鉄へのお願いとして、本日こちらに来る途中の出来事ですが、新安城駅での乗り換えアナウンスが「西尾・吉良吉田方面」と言うだけで「蒲郡」という言葉が出てきませんので、蒲郡へも行

けることをしっかりとPRしていただくようお願いします。

- また、個々のイベントの件ですが、先ほど蒲郡市から話しのあった沿線にある競技場を使つての大会の誘致などは効果的な方法だと思いますので、中学校だけでなく高校などにも広げていただければと思います。
- 県もリニモで活性化を行つていて、その経験からですが、沿線の大学の夏休み期間は、乗降客がガタッと減るため、毎年毎年、地道に90日間スタンプラリーなどを行つています。それで何とか1万人増えるのですが、ただ、先日、モリコロパークで民間が開催したSKEの握手会では、僅か2日間で8千人近くの人を集めました。しかも若い人を対象としたイベントでしたので、電車利用者が多かったそうです。また、愛知環状鉄道でも豊田スタジアムでMr.ChildrenやEXILEのコンサートがあると、相当な利用者になります。我々も、こういった時代に即したイベントをこの沿線で組んでいくと良いのではないかと思います。行政だけではなく、両市の応援団等の力をお借りして民間のいろいろなツテを頼ると、そういったこともできるのではないかと思います。
- 先日、兵庫県議会が愛知県に西尾・蒲郡線存続についての調査に来られました。兵庫では神戸電鉄粟生線が廃線の危機にありまして、このように、西尾・蒲郡線は全国的にも注目されています。西尾・蒲郡線の存続スキームを全国に広められるよう頑張つていただきたいと思います。

(名鉄)

- 日頃から皆様には名鉄グループ各社、お世話になっております。お礼を申し上げます。特に西尾・蒲郡線に関しましては、格別なご理解、ご協力を賜りまして重ねてお礼申し上げます。昨年度ご決議いただきまして、22年度から3年間、総額7億5,000万円の大変多額なご支援をいただくことについて、あらためて感謝を申し上げます。
- 今年度に入りまして、これが支援対象期間の2年目ということですが、活性化協議会も設立いただきまして、利用促進策を展開していくという意味での実質1年目と思っております。弊社といたしましても、路線の活性化に向けてより一層努力してまいりたいと考えています。
- 先ほど、ご報告がありましたが、過日活性化協議会において、活性化実施計画を策定いただいたとのことでした。地元の皆様におかれましては、駅周辺のハード面の整備、あるいは様々な利用促進策にも積極的に取り組んでいただいていることを大変ありがたく、心強く思っています。重ねてお礼申し上げます。
- 当社といたしましても今年度は、西尾市にも大変な協力をいただきながら、西尾キャンペーンを10月より展開しております。また、10月30日が西尾駅開業100周年ということで、記念発車式を計画しております。その他、活性化実施計画で実施予定の利用促進策につきましても、当然ながら可能な範囲で協力をさせていただき、皆様方とともに、この路線の活性化に努めてまいりたいと考えています。また、25年度以降の在り方につきましても、今後この協議会を中心に皆様方とご議論させていただきたいと考えています。何卒よろしく願いいたします。
- 先ほど収支報告をさせていただきましたが、経費節減につきましても、全社をあげて全力で取り組んでおり、その結果22年度につきましても、前年度よりも一定の収支改善を図ることができました。私ども鉄道運行事業者といたしましては、基本はまず安全対策であります。これに関しましては、従来どおり安全に対する万全の配慮を行いつつ、引き続き一層の経営合理化にも努めてまいりますので、よろしく願いいたします。
- 最後になりますが、西尾・蒲郡線は大量輸送という鉄道特性を發揮できないまでに利用者が減少しております。一民間事業者の自助努力だけでは、維持していくのに極めて厳しい状況であることは、かねてより申しておるところであります。そしてその状況は、現在も変わっておりません

ので、引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

(中部運輸局)

- この場をお借りいたしまして、私どもの業務に対し、日頃のご支援、ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。全国的に鉄道を守ることが、厳しい状況であります。特に地方では、大変厳しい状況であります。今回、西尾市、蒲郡市が鉄道を守ることによって、このような協議会をもうけていただき、名鉄とともに活動していただいていることに対し、深く感謝申し上げます。私ども国土交通省では、直接経済的な支援ができないのを大変心苦しく思っています。それ以外の部分での支援をさせていただきたいと思っています。
- 今回活性化協議会でアクションプランを策定し、実施されるということについては、西尾市、蒲郡市の各市、大変なご尽力が必要かと思えます。深く敬意を表します。アクションプランを実施することにより、一人でも多くの方に乗っていただき、目標が達成できることを心から願っています。

(会長・西尾市)

- 4月1日に幡豆郡3町と合併して半年が経ちました。それまでは、吉良町、幡豆町も対策協議会の構成者でしたが、合併ということで、西尾市が引き継ぎました。名鉄西尾・蒲郡線はこの地域の社会資本として生命線といいますか重要な路線と認識しています。責任も重くなり、更に認識も深め、いろいろな意味で頑張っていきたいと思っています。
- さきほど名鉄からご説明いただきました利用状況については、特に蒲郡線の利用者減について歯止めが掛からない状況であります。中々妙案がないというのが実情であります。そういう中で、愛知こどもの国の取扱いにつきましても先日、愛知県の行財政改革の一環の中で見直しの提案をされておりまして大変厳しい状況であります。こどもの国は、児童公園ということでいろいろな規制の中で運営をされているということですので、愛知県に対しそこのところの要望をしているところであります。
- 先ほど名鉄からご案内のとおり西尾の関係でいろいろなPRをしていただけることにありがたく思っています。愛知県につきましても先日実施しましたウォーキングなどいろいろなかたちでPRしていただいております。いわゆるソフト事業は、目に表れた効果が出るのに時間が掛かります。継続することが大切かと思えます。ハード事業では、今年度、西尾市は福地駅と吉良吉田駅に駐輪場を整備します。
- 西尾・蒲郡線は新西尾市の生命線ということは、市長以下認識していますので、今後も引き続きアクションプランの目標達成を目指して努力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。
- 以上をもちまして、「第10回 名鉄西尾・蒲郡線対策協議会 総会」を終了いたします。

(以 上)